

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名 一般国道202号 <small>ふくおかそとかんじょう</small> 福岡外環状道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 九州地方整備局
起終点 起点：福岡県福岡市博多区立花寺 <small>ふくおか はかたくりゅうげじ</small> 終点：福岡県福岡市西区拾六町 <small>ふくおか にしくじゅうろくちょう</small>	延長 16.2km	
事業概要 国道202号福岡外環状道路は、福岡都市圏の環状道路ネットワークを形成し自動車交通の分散化を図り、福岡市西南部地域の交通混雑の緩和及び交通環境改善を図ることを目的とした延長16.2kmの道路である。		
S44年度都市計画決定（H4年度都市計画変更）		S48年度事業化
		S52年度用地着手
		S55年度工事着手
全体事業費 約2,090億円		事業進捗率 98%
		供用済延長 8.2km
計画交通量 20,300～54,300台/日		
費用対効果分析結果	B / C <small>(事業全体)</small> 2.1 <small>(残事業)</small> -	総費用 <small>(残事業)/(事業全体)</small> - /3,033億円 <small>(事業費：- /2,936億円 維持管理費：- / 96億円)</small>
		総便益 <small>(残事業)/(事業全体)</small> - /6,495億円 <small>(走行時間短縮便益：- /5,769億円 走行経費減少便益：- / 635億円 交通事故減少便益：- / 91億円)</small>
基準年 平成22年		
感度分析の結果 -		
事業の効果等 交通混雑の緩和 ・並行道路((主)大野城二丈線 南区大平寺付近)の交通混雑緩和(混雑度H17:1.55 H42推計値:1.02) ・所要時間の信頼性の向上による便益【約485億円】 都市生活の利便性向上 ・福岡外環状道路(立花寺北交差点～青果市場入口交差点間)の所要時間短縮(約64分の短縮) 都市生活の安全性向上 ・並行道路((主)大野城二丈線)の死傷事故減少(37件/年) ・第三次救急医療施設への救急医療活動の支援 ・救急医療活動のアクセス時間の短縮とアクセスが向上する人口(約11分短縮、約270,000人) ・救急医療活動のアクセス向上便益【約892億円】 歩行者・自転車の快適性向上 ・自転車走行環境整備区間として自転車走行空間(2.0m)を整備 は供用後50年間の便益額として試算した値(参考値)		
関係する地方公共団体等の意見 福岡市をはじめとする3市5町で構成される福岡外環状線建設促進期成会(会長:福岡市長)等により早期整備の要望を受けている。(平成22年8月)		
市長の意見: (事業継続という対応方針(原案)に対し)異存はありません。引き続き整備促進をお願いいたします。		
事業評価監視委員会の意見 審議の結果、事業継続。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 福岡都市圏への人口集中に伴い、福岡市西南部地域では、DID地区(人口集中地区)が依然として拡大傾向にある。また、当該道路の暫定2車線区間及び未供用区間付近の周辺道路では、交通量が増加し混雑度は悪化している。		

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成21年度末の事業進捗率は、事業費ベースで約98%であり、そのうち用地進捗率は約100%に達している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

地元や関係機関との協力体制のもと、本線については、今年度予算で完了する予定であり、次年度以降は、一部区間の側道整備や事業損失の対応を図っていく。

施設の構造や工法の変更等

- ・湧水対策、発生土処分方法の変更等による増加【約18億円増】
- ・横断歩道橋整備、工事騒音対策等による増加【約23億円増】
- ・場所打ち杭及び仮設形状を変更し、部材厚・土留め工法の見直し等による減【約5億円】

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上事業の効果、事業評価監視委員会における審議、市長等の意見を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。